

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	医療法人 ナカノ会	事業所名	ナカノ看護小規模多機能型居宅介護
所在地	(〒 890 - 0008 ) 鹿児島県鹿児島市伊敷3丁目14番8号		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況に応じて医療・看護・介護の連携を図り迅速に対応することで利用者・家族の安心感に繋がっています。</li> <li>・医療ニーズの高い利用者を介護と看護の両面からサポートし24時間、365日切れ目のない体制で安心して生活が送れるよう取り組んでいます。</li> <li>・家族・医療、介護スタッフ間で利用者の情報共有を図るためにタイムライン形式による情報共有システム（MCS）を活用している。</li> </ul>
--

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦2019年 1月 15 日	従業者等自己評価 実施人数	( 26 ) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	----------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019 年 3 月 12 日	出席人数 (合計)	( 11 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 3人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( 0人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 0人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 2人) <input type="checkbox"/> 利用者 ( 1人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 2人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 1人) <input type="checkbox"/> その他 ( 2人)			

## ■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	スタッフミーティングと法人運営会議の強化	毎月のミーティングや朝夕の職種別の情報共有時間を設け各職員へ口頭伝達や各々がメールを随時チェックしながら利用者の情報共有できるよう努めている	日々変化する利用者の情報をいち早く伝達及び収集することでスムーズな対応ができるよう取り組む必要がある	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	医療ニーズが高くても円滑な利用ができる取り組みを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 痰吸引、胃ろう注入や感染症等の研修参加や薬剤について医師より指導を受け利用者の状態、変化に応じた対応ができている</li> <li>・ 利用者の状態変化に早急に気づける為日々、一人ひとりの状態観察、把握に努め異常時は迅速に看護師、主治医へつなげている</li> <li>・ 24時間切れ目のない体制で安心した生活を送れるよう取り組んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修や医師・看護師の指導の基、専門的技術・知識が学べているが全職員の習得にはバラつきがある。今後も法人内外の研修参加や事例検討会などで各々のスキルアップに努める必要がある。</li> <li>・ 利用者の状態変化が発生した場合、迅速に関係各所との連携を図り対応できるよう努める</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	多職種間での情報共有の強化が実践に活かされる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問看護、医師との連携を密にとり医療ニーズの高い利用者も安心して生活できるよう体制を整えている</li> <li>・ 相談員を通じて入退院時の医療機関の連携も密に図っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主治医を中心に各部署の担当者とカンファレンス参加しスムーズな受入れ態勢を整えていく</li> </ul>

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	法人活動の周知と地域活動への参加	ホームページやTV等で法人の紹介や毎月1回の地域清掃、子ども110番の旗を掲げる、地域住民参加の防災訓練、運営推進会議を通して法人の広報・啓発活動を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人として様々な取り組みを行い地域や関係機関への広報・啓発活動を行っているがホームページの更新ができていないなど充分とはいえない</li> <li>・運営推進会議を通して法人や地域の課題について意見交換しながら共に考え協力関係を作っていく。</li> </ul>
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)	高齢や疾病から急変に伴う看取りへの対応を事前に主治医と交えて十分な説明を行うことで家族の安心感につなげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガン末期の利用者など、医療ニーズの高い方の受入れも積極的に行っている。その際、家族へ本人の状態や予後予測から支援内容などしっかりと伝え、家族の理解、安心感につなげている</li> <li>・地域包括ケアシステムの基、住み慣れた地域での療養生活を継続しながらも本年度において7名の看取りをさせていただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じてその都度、利用者・家族の意向をしっかりと聞き取り意思を尊重した対応が必要</li> <li>・利用者の援助目標、内容を具体的に設定し全職員が意識をもち取り組む</li> </ul>	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	1 1月より看護小規模の移行に伴い看護小規模に求められるサービス内容の充実を図るためにも全職員が同じ目標に向けて取り組めるようされなる学習の必要性を感じた	事業所理念に基づき事業目的を理解し様々な状況に対応できる能力を身につける。そのためには法人内外研修参加や事例検討会を適宜行い職員全員の専門的技術・知識の向上につなげる	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	毎日のミーティングや定期的なカンファレンスを通して、利用者の状態把握に努め又、変化に応じた介護・看護を継続している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医、看護師、PT より健康管理や機能訓練に関する情報収集を密に行う。</li> <li>・状況変化に応じて本人、家族の意向確認・関係各所との連携を図り全職員が情報共有し迅速な対応ができるよう取り組む</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ニーズの高い利用者を支えるために主治医・歯科医・看護師・薬剤師など様々な関係機関との連携を図り情報共有を図っている</li> <li>・入退院カンファ時は医療機関関係者・事業所の関係各所の担当者が集まり利用者の情報収集又は、情報提供している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化や看取り時には主治医、看護師、関係各所と密に連携を図り利用者・家族を支えていく</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支所での法人広告やTVでの紹介などで法人の情報発信を行っている。また、地域清掃や子ども 110 番の旗の設置やワクワクキッズキッチンなど子ども支援にも取り組んでいるが地域近隣住民への広報・啓発活動が充分とはいえない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会、老人クラブ、近隣の小中学校の行事などの参加や医療機関、地域包括支援センターなどへの広報・啓発活動の強化</li> <li>・運営推進会議を通して地域の方々より地域情勢の情報収集</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	看取りに関して主治医、看護師、介護職員が密に連携を図りながら本人、家族の思い・意向に添った対応を行うことで家族の安心感・満足感に繋がられた 骨折後や入院加療退院後に再び、サービス再開が図れるよう連携と実践ができた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ニーズの高い利用者や看取り支援において本人、家族の安心感に繋がられるよう関係各所との連携を密に図り又、職員の専門的技術・知識を高め看多機の機能の充実を図る</li> <li>・本人、家族の意向を十分に反映させたプランを策定し、職員全員が目標に向けて取り組む必要がある</li> </ul>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		●			よくできている <u>いつもきちりと失敗もなく尊敬しています。自己評価もとてもきちりしていてすばらしいです。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくで</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		かっている ・施設内研修、施設外に於てもスキルアップ計画を立てている					きている ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		●			よくできている	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 法人ない研修、法人外研修に於ても、勤務調整し機会を確保できているが、積極性には個人差を認める					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		●			おおよそできている	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・職種別の情報共有を行う時間は設けられているが、他職種との情報共有が文書の場合理解が違ってしまう場合があるが、カンファレンスにて情報共有できている ・個人個人のカンファレンスがもっと必要ではないかと感じるケースもある					
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提		●			おおよそできている	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	供等に反映させている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・サービス提供には直接的には反映されていないように感じられるが、地域活動報告や防災訓練報告など実践を交えながら交流に勤めていることができる					を評価します
<b>② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備</b>							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		●			よくできている	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・余裕のある職員配置ではないが、・職員間にて協力体制ができている。就業環境、体制の変更が生じる際は事前に職員への説明会を実施し、不安軽減に努めるなど行った。							
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
<b>① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備</b>							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		●			おおよそできている	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・色々なツールを活用しているが、情報共有に時間がかかる。							
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
<b>① 各種の事故に対する安全管理</b>							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保の		●			おおよそできている	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	<b>[具体的な状況・取組内容]</b> ・時間毎の巡視及び随時のコール対応により利用者様の安全確保を行っている ・職員に対しては、夜間はセキュリティをかけることにより安全確保を行っている ・監視カメラ設置されている ・避難ルートを職員間にて共有されている ・インシデント/アクシデント報告書により安全確保の対策が練られている					対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
<b>② 災害等の緊急時の体制の構築</b>							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		●			よくできている	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
<b>① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</b>							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況		●				✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている					おおよそできている	し全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		●			おおよそできている	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		●			おおよそできている	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維		●			よくできている	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<b>[具体的な状況・取組内容]</b> ・回復の難しい利用者様に対し、維持重視の計画がしっかり立てられている ・自立支援をめざす計画が作成されている。					を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		●			よくできている	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		●			よくできている 食事が外注になってから好みの薄味になりました。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		●				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うこと</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							が重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		●			よくできている	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・カンファレンスやミーティングに於も両職種間適切に連携が図れている ・意見が交わしやすい職場環境が整っている					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		●			おおよそできている	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・訪問前後に情報共有を行っている ・処置方法報告、継続依頼を行っているが、なされていないことがあり、再度確認を行っている					
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			よくできている	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・個々に合わせサービス内容の趣旨説明し理解して頂いている ・理解できていない利用者様についてはしっかり家族と話し合っている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			よくできている	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 担当国会議等で理解を得ている ・ 計画書を元に説明、同意得ている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			よくできている	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 血糖測定やインスリン注射など見守りについて行っている ・ 食事介助等、ご家族様にて行う場合、提供方法や食事形態、姿勢等注意している					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		●			よくできている	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 事前に聞き取りした内容を担当国会議等で確認し、利用者様、ご家族の意向に沿ってサービスを提供できている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> ・利用者様ご本人とは話し合い難しいリスクを想定したうえで、ご家族様、医師、看護師との話し合いの場が持たれている					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		●			<u>よくできている</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> ・医師から直接説明をしてもらっている。 ・ご利用者様情報報告行っている ・ご家族、利用者様意向は記録を残している					
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 退院前カンファには看護師、ケアマネは参加し、直接療養者様の状態を把握するようにつとめ後日サマリーにて情報共有も行っている ・医療的なケアの継続性については、事前に在宅主治医からの指示で準備など行い円滑に在宅にて生活できるよう配慮行っている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>看護師、CMにて事前、速やかに直接情報共有の直接の場面やその後サマリーにて情報共有を行っている</p> <p>在宅でできる医療的内容についても医師、看護師よりメリット、デメリットなど説明している</p>					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・時間、曜日関係なく連絡体制が整っている</p>					
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えら		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォー</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	れる包括的なサポートにつ いて、民生委員・地域包括支 援センター・市区町村職員等 への情報提供や提案が行わ れている	[具体的な状況・取組内容] 2ヶ月に1回行っており、利用者様やご家族様 より意見頂き改善している					<p>マルサポート等を含めたケアの提 供について、多職種とともに検 討・支援を行っていくなどの取組 の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがな い場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や 町会長などの住民代表も対象です</p>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録につ いて、誰でも見ることができる ような方法での情報発信が、 迅速に行われている		●			よくできている	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法で の情報発信」と「迅速な情報発信」 の2つの視点から、充足度を評価 します</p>
		[具体的な状況・取組内容] ・情報共有できるようにしっかりとファイリ ング行いスタッフの見える場所に保管行っ ている					
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等について、 正しい理解を広めるため、地 域住民向けの積極的な啓発 活動が行われている		●			よくできている 町内会は元気な人の集まり で、在宅医療を利用していな いので、よくわからない 小学校や中学校の保護者に 医療の説明会を行ってほ うか	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地 域説明会の実施」などの取組が考 えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的と した活動等は除きます</p>
		[具体的な状況・取組内容] ・月1回の地域清掃活動は継続できているが、 もっと積極的な参加が必要だと思う ・11月のケアタウンのサービス移行の際 は、多くの事業所、関係者の皆様に集ま っていただき、活動報告の機会にもなっ					



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		た					
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		●			よくできている 訪問、泊り、通い全て利用でき、とても助かっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よく</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		で時間がかかるのが、制度上の課題でもある。					できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				●	<u>まったくできていない</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p><u>介護職(不特定の医行為:1号認定者)は1名いるが、夜間帯の体制(医療従事者の常時配置がないため)暫くは受け入れできないと考える。</u></p>					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		●			<u>よくできている</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・ 終末期の方が過ごしやすい環境づくりを行っている。必要な医療的ケア、ターミナルケアとして看護師の訪問なども頻度を増やして対応している。</p>					
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げ		●			よくできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 住み慣れた地域で最後まで生活できるよう支援できるとサービスであると考え、いかに柔軟に実践できるかを考えている					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							<p>要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		●			<p><u>よくできている</u> <u>施設への敷居がたかいと思っ</u> <u>ている</u> <u>自己評価についてはよくわか</u> <u>らない</u></p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] ・体調変化等もあるが、ほぼ達成できている	よくできている 母がここは天国だという 母が笑顔で満足です	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] ・導入にあたり説明行っている為安心していただけている ・容体悪化時の緊急搬送に関しては迷いが生じる	<u>よくできている</u>	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている		✓ 在宅での看取りを希望する利用者お

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 他職種連携行えている為安心されている</p>	よくできている 夫も看取ってもらいましたが、日ごろの世話をして看取りまでは大変なことだと思います。感謝しています。	<p>よびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>